



測定結果

腸内フローラチェック

腸内細菌の詳細

アレルギー体質チェック

その他結果

あるとうれしい菌

どうぶつさんコラム

腸内フローラチェック

こまちちゃんの腸内フローラチェックの結果は
「平均的」 でした。

測定結果へのコメント

腸内フローラは普段のご飯や運動、睡眠などの生活習慣で変わります。アニコムでは、ご飯や散歩などの生活習慣をバリエーション豊かにすることや、十分な睡眠などが役に立つと考えています。定期的に腸内フローラをチェックしていきましょう。

腸内フローラチェック結果の頭数分布

平均的



少し気になる 18.2%

平均的 58.88%

とても良い 22.92%

本結果は、病気を診断するものではありません。

腸内フローラの多様性



多様性が高めです

腸内フローラにさまざまな機能を持つ菌がバランス良く存在していることを表します。多様性は、腸内フローラ中の菌の種類が多く、それぞれの菌の存在比率に偏りが少ないほど高くなります。腸内フローラの多様性が高いほど、病気になりにくいと言われています。

乳酸菌



乳酸菌が少ない結果になっています

乳酸菌が産生する乳酸は腸内を酸性に傾け、環境を良好にすると言われています。代表的な乳酸菌であるラクトバチルス属と、エンテロコッカス属を保有しているかを表示しています。

ビフィズス菌

 High / 8.41 %



ビフィズス菌を多めに保有しています

ビフィズス菌は酢酸やビタミンB群、ビタミンK、葉酸などを産生する菌です。ヒトでは母乳で育った赤ちゃんの腸内に多く、加齢により減少する傾向があります。病原菌などの増殖を妨げ、有害な物質が作られないように働いています。

酪酸菌

 High / 5.9 %



酪酸菌を多めに保有しています

酪酸菌が産生する酪酸は腸管内の細胞のエネルギー源になることが知られているほか、腸内の炎症の抑制や免疫機能の調整に関わっているという研究報告があります。代表的な酪酸菌であるフィーカリバクテリウム属とクロストリジウム属の比率を表示しています。

こまちちゃんのアレルギー体質チェックの結果は
「標準レベル」でした。

測定結果へのコメント

腸内フローラのバランスは標準的だと考えられます。
年齢と共にアレルギーの症状がでることもあり得るので、定期的な腸内フローラの測定をしてみてください。

アレルギー体質チェック結果の頭数分布

標準レベル



要注意レベル

19.72%

標準レベル

61.25%

良好レベル

19.03%

※ 本結果は、病気を診断するものではありません。
今後の調査・研究により、結果が変更となる場合があります。ご了承ください。



ワンちゃんのアレルギー予防（対策）のポイント

アレルギーの症状は皮膚にでやすいです。以下のようなポイントを普段の生活から気をつけることでお肌の負担を減らすことができます。

良質なフードを

アレルギーカットや良質なたんぱく質などお肌の状態に気を使ったご飯も市販されています。ご飯についてお悩みのときは、かかりつけ医のアドバイスなどを参考に、わが子にあったフードを選びましょう。

品種によっても

品種によりアレルギーの発症率には差があります。遺伝的に肌が弱いワンちゃんの場合、早い段階でご飯や生活環境に気を使ったほうがいいのかもかもしれません。

お散歩でストレス解消☒☒☒

アニコム腸活データから、お散歩の頻度と病気の発症とは一定の関係があることが分かっています（お散歩に行くほど病気になるににくいという傾向です）。運動は、快適な睡眠、肥満防止、ストレス発散になり、アレルギーにもなりにくくなります。

環境性アレルギーの除去

アトピーのワンちゃんはハウスダストや花粉などお肌に痒みが出てしまうことがあります。お部屋のお掃除や空気清浄機をつけることでワンちゃんにくっつくアレルギーを取り除いてあげてください。

日頃から清潔に

こまめにシャンプーをしてあげてバイ菌や汚れを落とし、お肌を清潔に保つことは、とても重要です。脇の下や内股など症状が出やすい場所を日頃からチェックしてあげましょう。基本的には月に1回のシャンプーで問題ありませんがお肌の弱い子は動物病院で獣医師にシャンプーの種類や回数を相談してください。

シャンプーは動物用を

ワンちゃんは毛に被われていて皮膚も丈夫そうに見えますが、実は人間の皮膚の1/5と薄く、とてもデリケートです。ですから人間用のシャンプーは不向きです。動物用のシャンプーでわが子の体質にあったものを使うようにしましょう。

ノミ・ダニ予防

ワンちゃんの体にノミがついてしまうと、アレルギー症状が出る場合があります。屋内で住んでいるワンちゃんもノミがつくことがあるので予防はしっかり行ってあげてください。

保湿剤でお肌のケア

人間と一緒に乾燥はお肌の天敵です。お肌が乾燥しやすい子や赤くなりやすい子はシャンプーの後や普段の生活の中で保湿クリームをつけてあげるとお肌に優しく、かゆみ等も和らぐかもしれません。

メタボ判定



メタボ判定は「太りやすい」です

太りやすい生活習慣のようです。日々のちょっとしたことの積み重ねが大きな違いとなりますので、フードの量や運動量を見直すことを考えてもいいかもかもしれません。

 菌の多さ、少なさを花の数で示しています

増えすぎるとお腹によくない菌 (プロテオバクテリア門菌)

 Mid / 7.8%



プロテオバクテリア門菌を平均的なレベルで保有しています

プロテオバクテリア門菌は、ヒトでは下痢症状を持つ人の腸内に多く、この菌の中には日和見感染症を引き起こす種類の菌も存在します。腸内のプロテオバクテリア門菌が少ないグループの場合は、腸内環境が比較的良好なグループと考えられます。

犬の健康にとってよい菌 (フソバクテリア菌)

 Mid / 1.27%



フソバクテリアを平均的なレベルで保有しています

犬では、フソバクテリアが腸内フローラにいたことが、健康と相関がありそうという結果が出ています。一方、人では病気と関連があることが報告されていることから、犬と人間ではフソバクテリアの働きには違いがありそうです。

やせ菌 (アカマンシア菌)


  Low / 0%



アカマンシア菌はいませんでした

通称やせ菌。善玉菌の一種で、魚油やポリフェノールを摂取することで増えるといわれています。ヒトでは、肥満や糖尿病の改善に効果的との研究結果が出ています。食物繊維の多い食事をとると増えると言われていています。

あるとうれしい菌



ブラウティアコッコイデス

加齢や病気の予防に働く可能性がある細菌。高齢者やガン患者では少なく、和食を食べる日本人では多いといわれており、有用な菌として注目されています。

レア度
★



**エクオールをつくる細菌10種
(10種のうち1種以上)**

エクオールとは、お肌の若返り効果があるといわれる嬉しい物質です。この細菌群はエストロゲンを抑えるエクオールをたくさん作ることから、乳ガンや前立腺ガンなどのホルモン性の病気予防効果があるといわれています。


レア度
★★★



フィーカリバクテリウム

健康促進、プロバイオティクスとして注目される細菌。痩せる、健康になる等良い効果がたくさんある酪酸を産生する細菌です。

レア度
★★★★★



パラプレボテラ

食物繊維に含まれる成分のひとつであるキ

レア度
★★★★★

※ レア度とは、その細菌を持っている確率です。★の数が多いほど、持っている確率が低い(レア度が高い)ことを意味します。

※ ヒトで良いとされている菌が、どうぶつさんにも良い働きをするかは研究段階にあります。また、どうぶつさんによって、存在しない場合もありますが、これによって健康にすぐさま影響があるとも限りませんし、どうぶつ種によっては存在しない菌もあります。